

暮らしやすさが実感できる

「ずっと」住み続けたいまちへ

住みよさランキング  
3年連続第1位

チーム草津



橋川わたるさんプロフィール

昭和 48 年 3 月 京都大学卒業  
昭和 48 年 4 月 草津市役所勤務  
平成 18 年 4 月 政策推進部長  
平成 20 年 3 月 草津市長選挙当選（現在 2 期目）

チーム草津は 橋川わたる さんとともに歩みます

草津に住みよさの橋を実現

クリーンで信頼 確かな実行

地域資源を生かした  
観光・農水産業振興と企業誘致・雇用拡大

市街地・周辺部の地域再生と  
まちづくり基盤整備

食とスポーツを生かした「健幸都市」づくり

女性の活躍を推進し、安心して出産・子育て  
できる環境づくり

# 未来の草津への住みよいかけ橋を市民とともに歩みましょう

## 子どもたちの未来へのかけ橋

安心UP

- 小・中学生の医療費負担の軽減  
通院医療費の負担軽減
- 出産・育児のワンストップサービス  
あらゆる相談ができるくさつ版「ネウボラ」を設置
- 家庭訪問型子育て支援のスタート
- 待機児童ゼロ・幼稚園の3歳児保育の実施
- 第3子以降の保育料無料化
- 草津駅、南草津駅周辺に子育て支援施設  
病児・病後児保育の拡大
- 中学校給食を実現
- 子どもの学力向上  
学校司書を配置し読書力を向上。ICTによる、わかりやすい授業改革
- 高齢者を支える仕組みづくり  
住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現
- みんないきいき「健幸都市」  
検診等の受診率を向上し、健康ポイント制度を導入。食とスポーツを生かして「健幸都市」を実現
- 障がい者福祉を充実

住みよさランキング  
3年連続第1位

## 市民の生活へのかけ橋

活力UP

- 企業誘致・雇用拡大
- 地域特性とネットワークで魅力ある地域の再生  
市街地・周辺部それぞれの歴史、自然、産業、地勢などの特性を生かした地域再生。公共交通の充実・ネットワーク化
- 中心市街地の活性化  
草津川跡地の賑わいと潤いのスペースをオープン
- まちづくりの基盤整備  
国道1号バイパス(山手幹線)などの幹線道路、草津川上流部の平地河川化などの基盤整備
- 文化・芸術など豊かな学びを創生  
文化振興のための条例化
- スポーツ健康づくり  
野村運動公園の整備や草津川跡地を活用したグラウンドゴルフ場の整備、立命館大学スポーツ健康科学部と連携
- 歴史、自然など地域資源を活用した観光振興・農水産業振興  
草津宿本陣、芦浦観音寺などの文化財、琵琶湖岸の自然・景観や草津の特産品の野菜・メロン・淡水真珠などを活用
- 市民が主役のまちづくり  
地域活動・ボランティアへのポイントシステムの構築、地域での環境、子育て、介護などの課題に取り組むソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの創出・育成
- 女性の活躍を推進  
女性の起業、子育てママの就職支援、地域活動への参画支援や女性が働きやすい・子育てしやすい職場環境づくりを促進

## 市民の安心へのかけ橋

安全UP

- 自助・共助の防災・減災対策  
自主防災組織の資機材等の整備や地域での防災訓練
- 自転車盗・消費者被害の減少
- 身近な環境保全・創造活動を応援  
環境教育・学習の推進、情報発信、ネットワーク化
- 琵琶湖を再生し、豊かな水産業の復活  
琵琶湖再生法により、水草の除去や水質改善
- 市民参加型の省エネ  
意識啓発事業の取り組みや省エネ助成制度を新設
- 新クリーンセンターの建設、ごみ減量・リサイクル

## 市政の健全化へのかけ橋

透明UP

- 市政に対する市民満足度をアップ  
市民ニーズを的確に把握し、効果的なサービスの提供
- 健全な市財政基盤を確立  
財政規律ガイドラインの数値目標を設定し、その進捗管理
- 市民目線で不断の改革  
業務分析、民間活力・ノウハウの活用により最少の経費で最大の効果を生むよう、経費と人材を重要政策課題に集中的に配置
- 三現主義・市民との対話  
現場に出向いて、現物に直接触れ、現実をとらえる三現主義を徹底し、市民本位のサービスの向上